

教員氏名	福本陽介	職位	教授
最終学歴	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程英語学専攻単位取得退学		
学位	修士（文学）		
役職		委員会	入試委員会
担当科目	<p>Communication Skills I  Advanced English II  英語専門演習  卒業研究  英語音声学 I/II  英語学 II  Communication Skills IV</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	英語学 II（2020 年度より現在に至る）：学生がさまざまな言語データを実際に分析する体験ができるよう講義を設計し、指導している。		
教育研究業績	<p>学術論文</p> <p>2018 年 1. 中国語の時量詞構文のアスペクト性について（査読付）（研究会報告 第 42 号（国際連語論学会学会誌 第 7 号）日本語文法研究会（pp. 117-134））  2. 生成文法における中国語言語事実の適切性について：Liao（2013）をもとに（名古屋産業大学論集第 32 号（pp. 27-35）中国関係論説資料第 61 号（pp. 24-28））</p> <p>2019 年 1. 状態動詞と時量詞構文（査読付）（研究会報告 第 44 号（国際連語論学会学会誌 第 10 号）日本語文法研究会（pp. 115-124））  2. 英語学習者と英語教育のいびつな関係（査読付）（日本福祉大学全学教育センター紀要第 7 号（pp. 31-41））</p> <p>2020 年 1. 中国語の時量詞構文における焦点について（査読付）（東アジア国際言語研究創刊号（pp. 184-194））</p> <p>研究ノート</p> <p>2018 年 1. 英語学習者のための中国語入門：情報構造の観点から（名古屋産業大学論集第 31 号（pp. 29-34）現代ビジネス学会 英語学論説資料第 52 号（pp. 325-328））</p> <p>2021 年 1. 英語学習者のための中国語入門 2：I am glad to see you. をどういうか（名古屋短期大学研究紀要, (59)（pp. 149-163））</p> <p>研究発表</p> <p>2018 年 1. 時量詞構文の構文的意味としての継続義・状態性について（国際連語論学会第 6 回大会（於大東文化大学））</p> <p>2019 年 1. 時量詞構文における述部のコロケーションと「的」の有無について（国際連語論学会第 7 回大会（於東洋大学））</p> <p>その他</p>		

	<p>競争的資金</p> <p>2020年度より2021年度 1. 多文化世帯に生きる子どもたちの言語習得に関する実証研究： 愛知県における中国系世帯とブラジル系世帯の比較を通して（共同研究）（第15回 児童教育実践についての研究助成（公益財団法人 博報堂教育財団））</p>
<p>所属学会</p>	<p>日本英文学会（中部支部）、日本英語学会、日本言語学会、東アジア国際言語学会、東アジア言語文化学会、名古屋大学英文学会、名古屋大学英語学談話会</p>